

図書館新聞 2021年7月号

『はなの街オペラ』

もりかわ しげみ 森川 成美／作 坂本 ヒメミ／画 井上 征剛／監修・解説 くもん出版 (K913モ)

時は、大正時代。東京に奉公に出て、ひよんなことから歌のレッスンを受けることになったはな。次第にオペラに関心をもつようになり…。困難な状況にある人々が、逆境のなかでも、音楽の力を信じ、明日へ進んでいく物語です。



『ミライの武器』

よしふじ 吉藤 オリィ／著 サンクチュアリ出版 (Y159.7ヨ)

分身ロボット・OriHime(オリヒメ)を生み出し、いまや世界から注目されるロボット開発者・吉藤オリィ氏の感動講義を書籍化。いまの大人たちにはなかなか想像できない、次世代の「新しい人生のつくり方」。自分の過去をベースに夢中になれることを見つけ、楽しく生きていく方法をやさしく解説する一冊です。

『会社で働く』

まつい だいすけ 松井 大助／著 ペリかん社 (366.2マ)



会社で働く人たちがどんな仕事をしているのかを「家庭用ロボットをつくり、人びとに届ける」というストーリーに沿って解説。4つの会社を舞台にさまざまな職種を紹介し、会社で働くことの醍醐味を伝えます。

『イカル荘へようこそ』

にしがき ようこ／著 PHP研究所 (K913ニ)

揉めてばかりの両親にうんざりした中学2年の真子は、偶然出会った夏鈴の住む「イカル荘」でホームステイをさせてもらうことに。そこで“当たり前前の幸せ”を感じた真子は…。多感な時期の少女が葛藤しながらも、両親との関係修復へと向き合っていく成長物語です。

『江戸のジャーナリスト葛飾北斎』

ちの けいこ 千野 境子／著 国土社 (721.8チ)

世界に誇る超有名人・浮世絵師葛飾北斎とはどんな人物か。情報の限られた江戸時代に、広く日本の外へも関心を向け情報収集し、90歳まで絵筆をとった超人・北斎の、真の姿をあぶりだしたノンフィクション。

イベントのおしらせ

分類ラリー

日時:7月21日(水)~8月24日(火)

場所:中央図書館3Fカウンター

くわしくは図書館ホームページ・チラシをご覧ください!

本の帯コンテスト

締め切り:9月17日(金)

応募要項:中学校図書室、守谷中央図書館が所蔵する本に限ります。くわしくは、各学校図書室まで。

7月のお休み

※5日(月)

※14日(水)は公民館図書室のみお休み

